膵管内管状乳頭腫瘍(ITPN)の１例

熊本市医師会 熊本市医師会検査センター 病理[1)]

熊本市医師会 熊本地域医療センター 外科[2)]・病理診断科[3)]

〇三浦　真嗣（CT）[1)]　島田　寛子（CT）[1)]　三浦　令子（CT）[1)]

井上　あかね（CT）[1)]　布上　亜紀（CT）[1)]　嶋村　千帆（CT）[1)]

田嶋　ルミ子（MD）[2)]　蔵野　良一（MD）[3)]

EUS-FNA 検査内訳（2017.1～2017.12）

EUS：550件　　EUS-FNA ：25件

リンパ節・・・2件

副　　腎・・・1件

食道・胃・・・5件

膵　　臓 ・・17件

浸潤性膵管癌：8件

ITPN：1件

IPMN：2件

IPMC：1件

神経内分泌腫瘍：1件

陰性：4件

膵腫瘍の病理組織学的分類

1上皮性腫瘍(epithelial neoplasm)

A. 外分泌腫瘍(exocrine neoplasm)

1漿液性腫瘍(serous neoplasm)

・漿液性嚢胞腺腫(serous cystadenoma)

・漿液性嚢胞腺癌(serous cystadenocarcinoma)

2粘液性腫瘍(mucinous cystic neoplasm)

・粘液性嚢胞腺腫(mucinous cystadenoma)

・粘液性嚢胞腺癌(mucinous cystadenocarcinoma)

3膵管内腫瘍(intraductal neoplasm)

・膵管内乳頭粘液性腫瘍(intraductal papillary mucinous neoplasm ;IPMN)

軽度、中等度、高度異形成

・膵管内管状乳頭腫瘍(intraductal tubulopapillary neoplasm ;ITPN)

・膵上皮内腫瘍性病変(pancreatic intraepithelial neoplasia ;PanIN)

4浸潤性膵管癌(invasive ductal

・腺扁平上皮癌(adenosquamous carcinoma)

・粘液癌(mucinous carcinoma)

・退形成癌(anaplastic carcinoma)

5腺房細胞腫瘍(acinar cell neoplasm)

・腺房細胞嚢胞腺腫(acinar cell cystadenoma)

・腺房細胞癌(acinar cell carcinoma)

B.神経内分泌腫瘍(neuroendocrine neoplasm ;NEN)

1神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor ;NET)

2神経内分泌癌(neuroendocrine carcinoma ;NEC)

C.併存腫瘍(combined neoplasm)

D.分化方向の不明な上皮性腫瘍(epithelial neoplasm of uncertain differentiation)

・充実性偽乳頭状腫瘍(solid-pseudopapillary neoplasm ;SPN)

・膵芽腫(pancreatoblastoma)

2非上皮性腫瘍

症例

患者：80歳代、女性

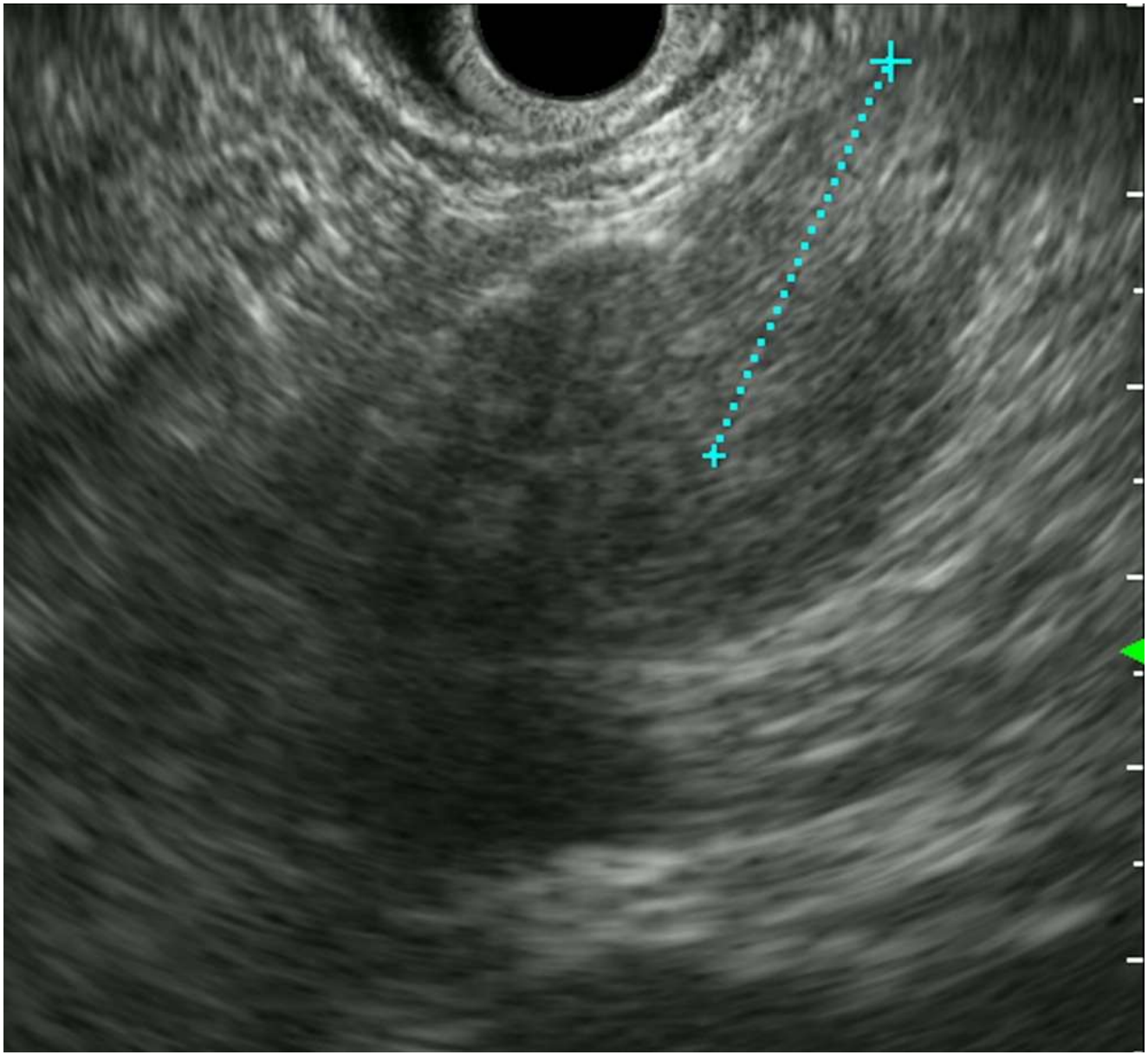
既往歴：高血圧症、急性膵炎、
下肢深部静脈血栓症

現病歴：近医にて、高血圧症の加療中に、腹部CT にて膵腫瘍を指摘された。
膵頭部の MRCP 、エコーで画像上悪性を否定できず、精査目的で当院を紹介受診された。

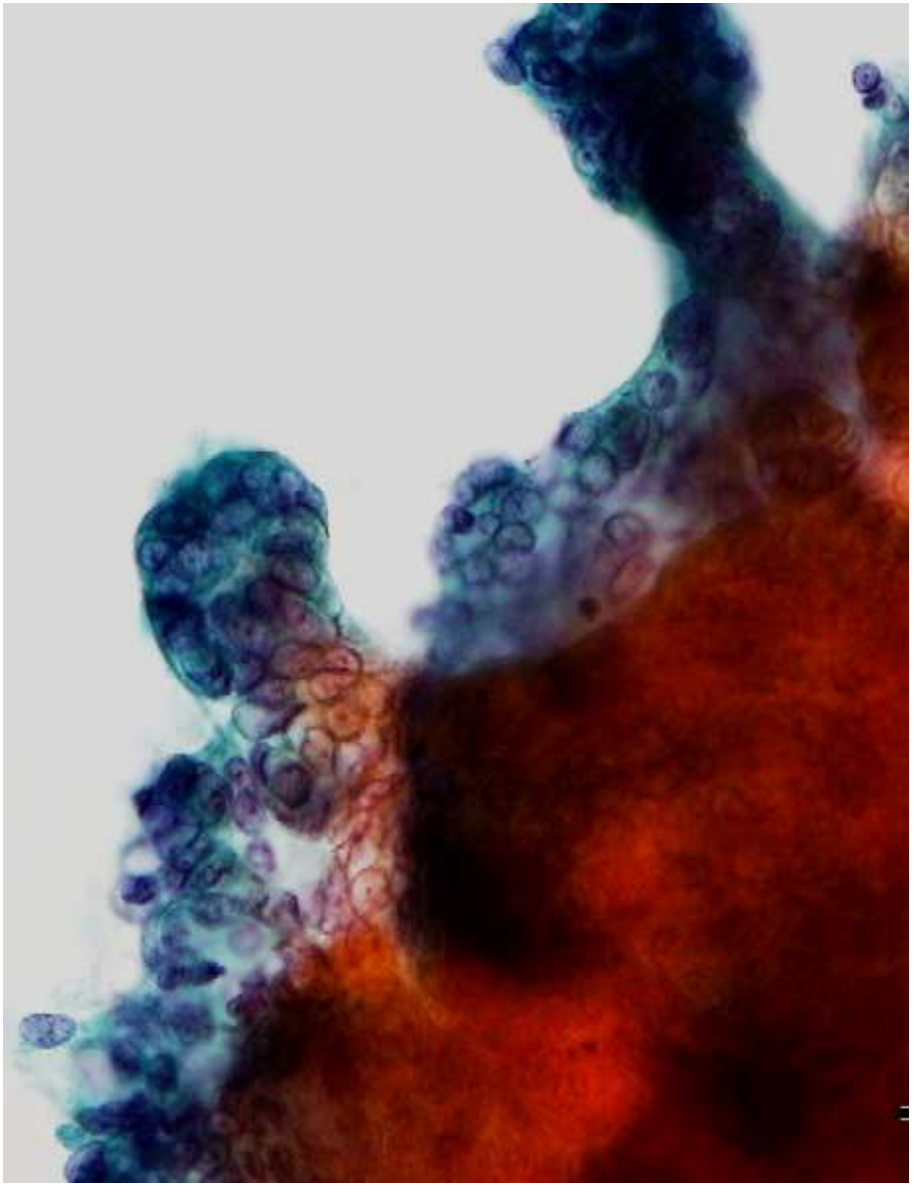
CT 画像

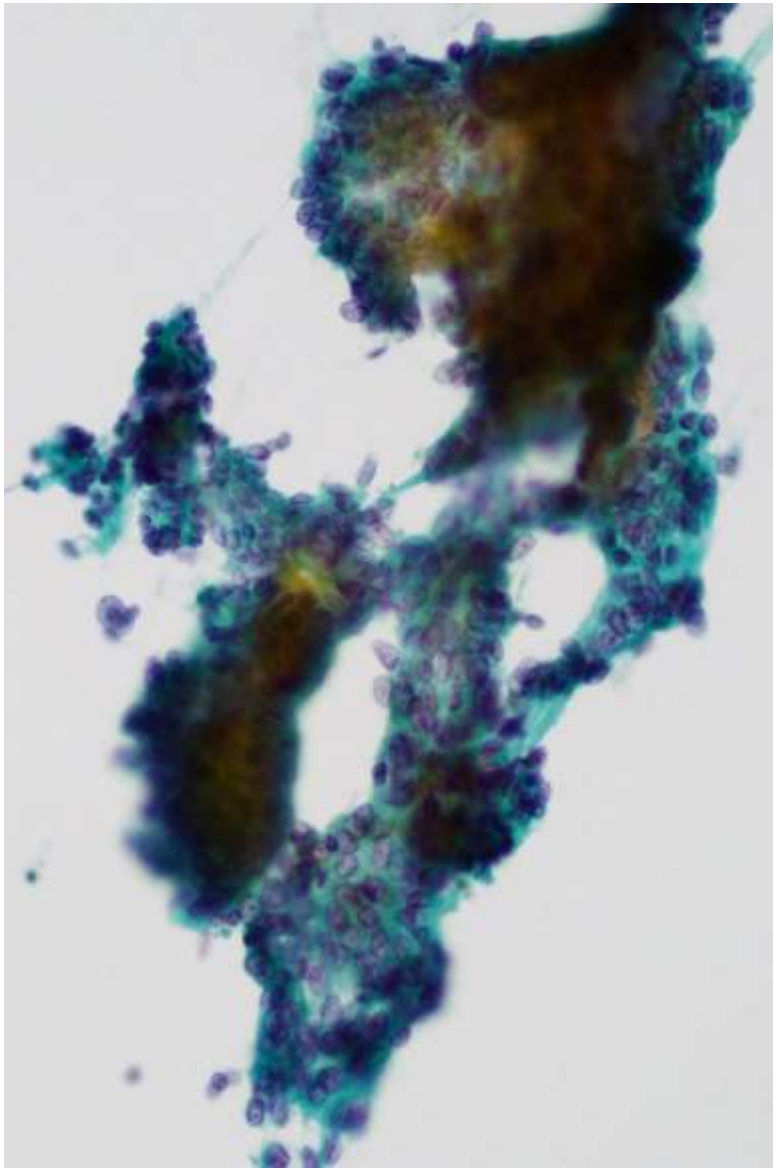


EUS (超音波内視鏡検査)膵臓

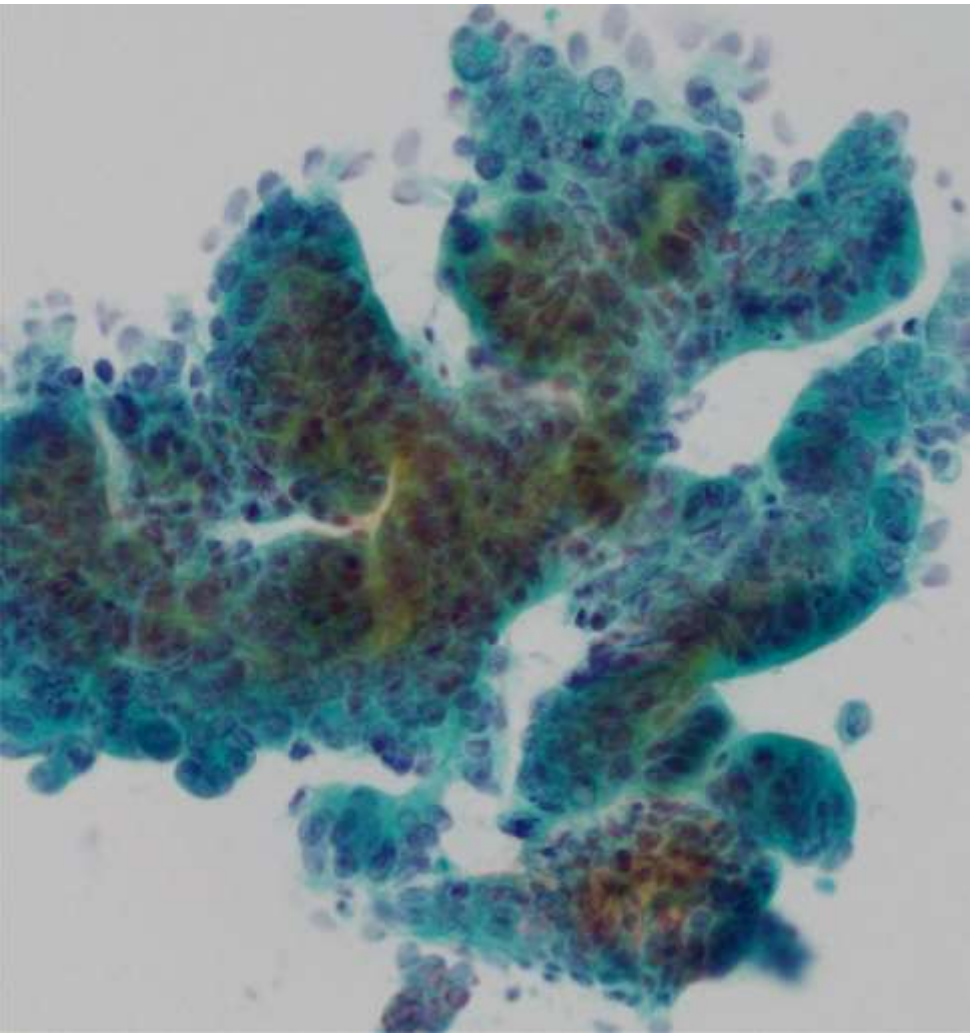


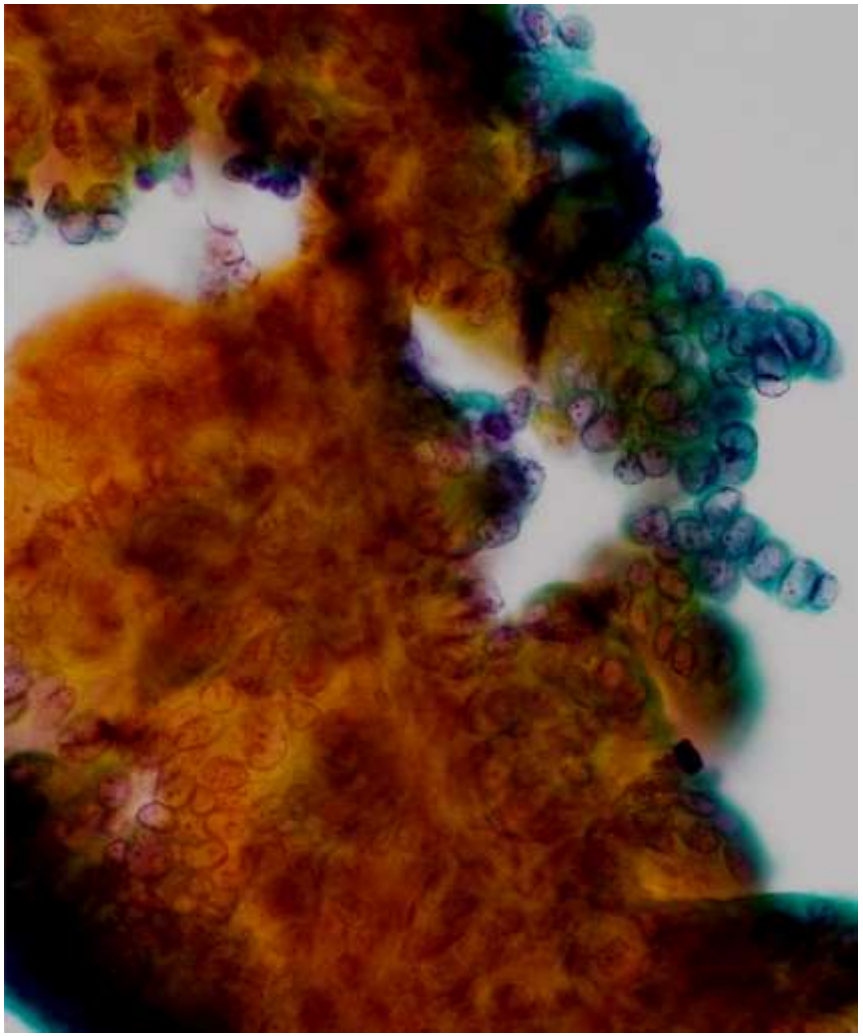
EUS-FNA 細胞像①（Pap.染色×10）



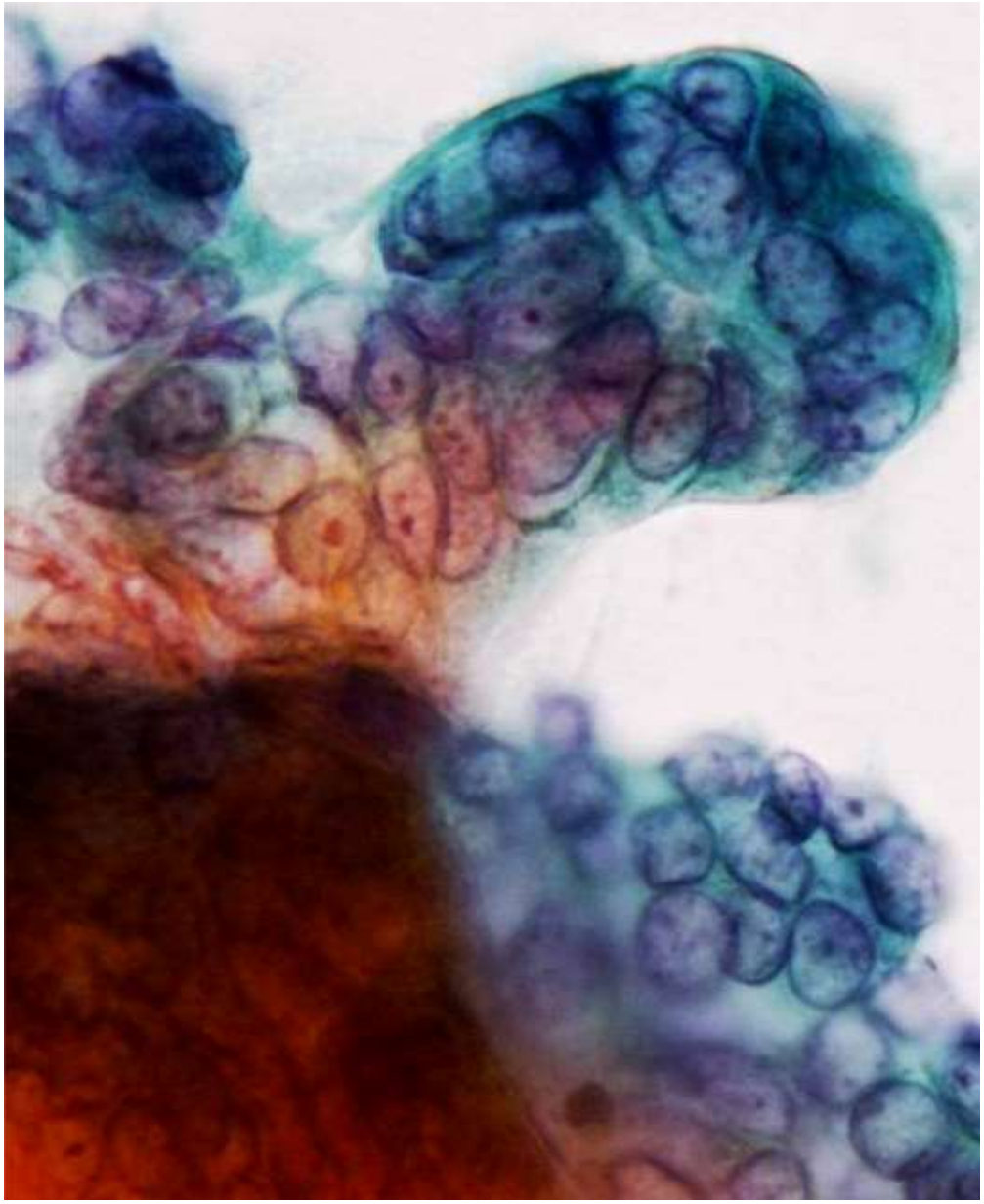


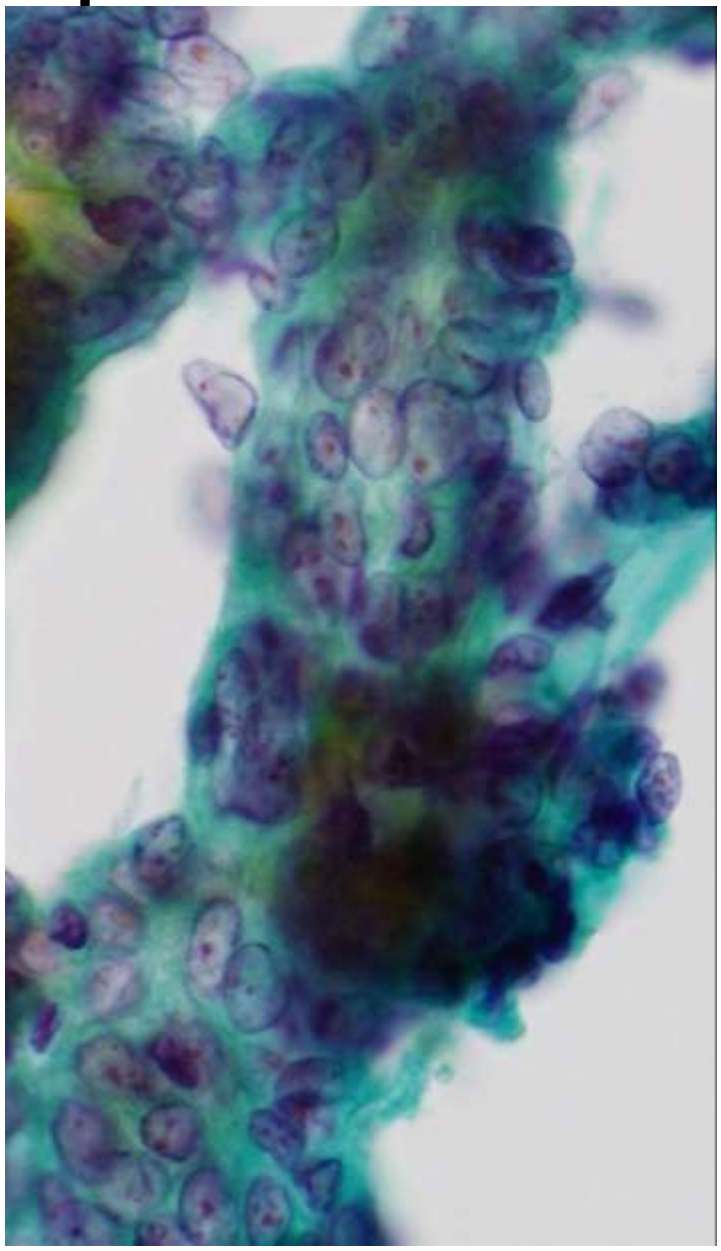
EUS-FNA 細胞像②（Pap.染色×40）



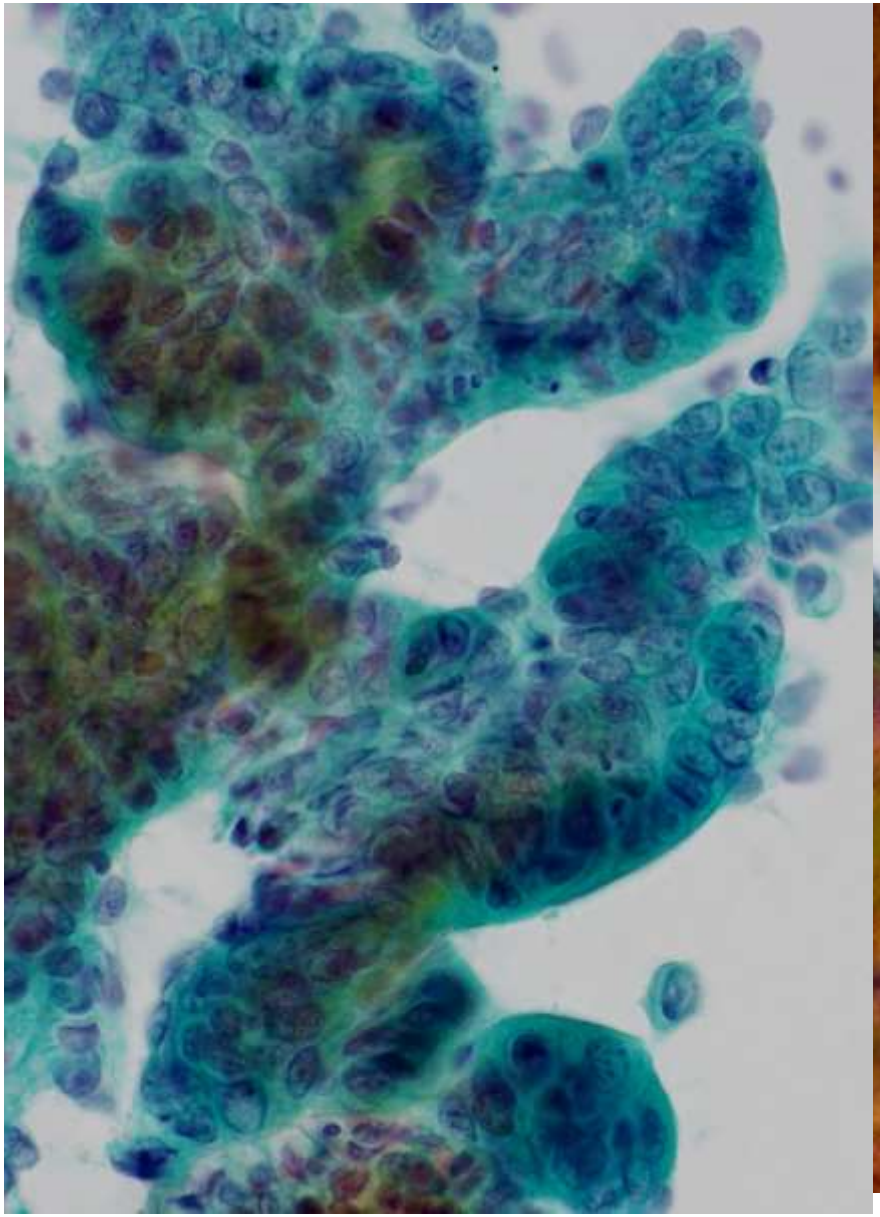


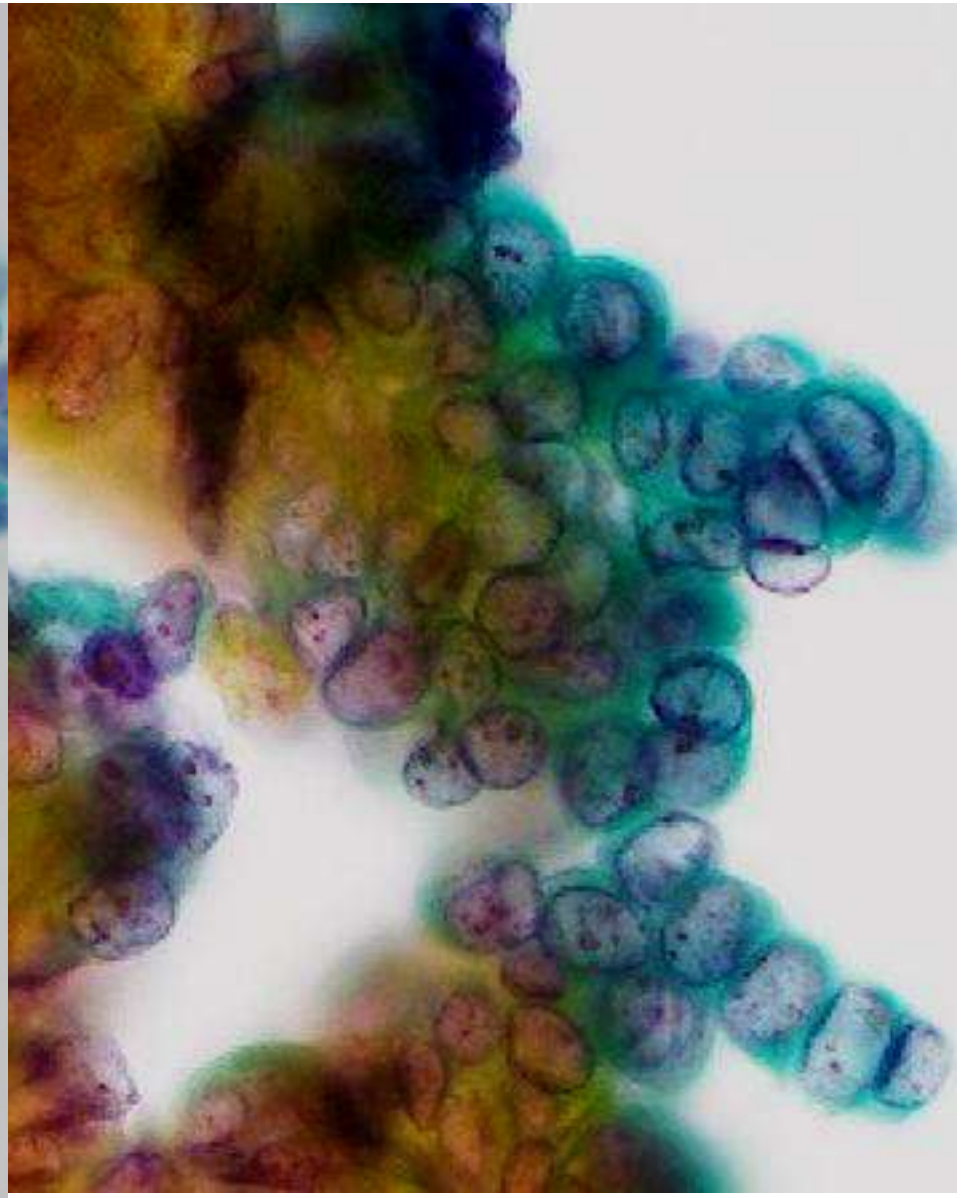
EUS-FNA 細胞像③（Pap.染色×100）



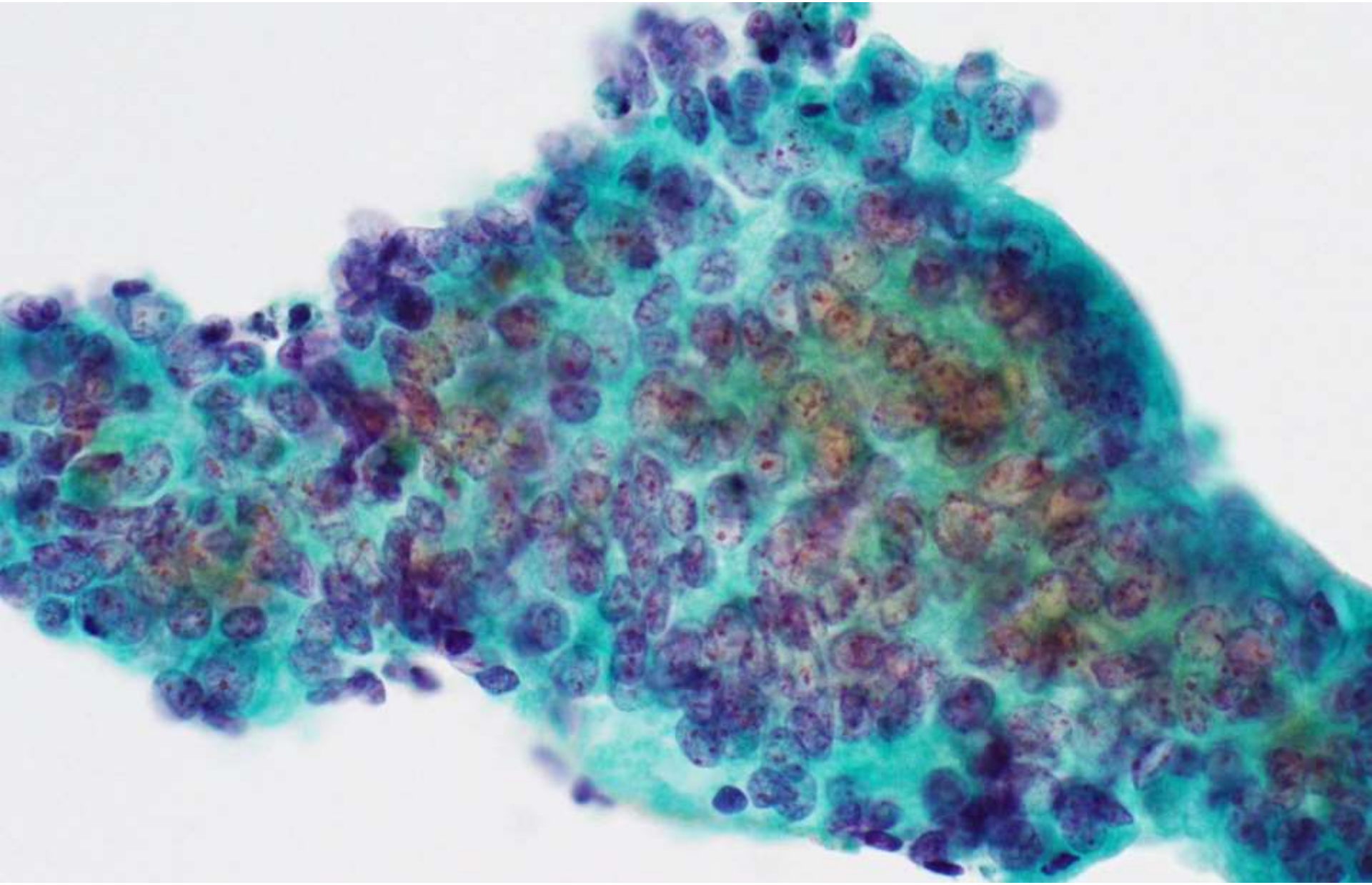


EUS-FNA 細胞像④（Pap.染色 ×100）

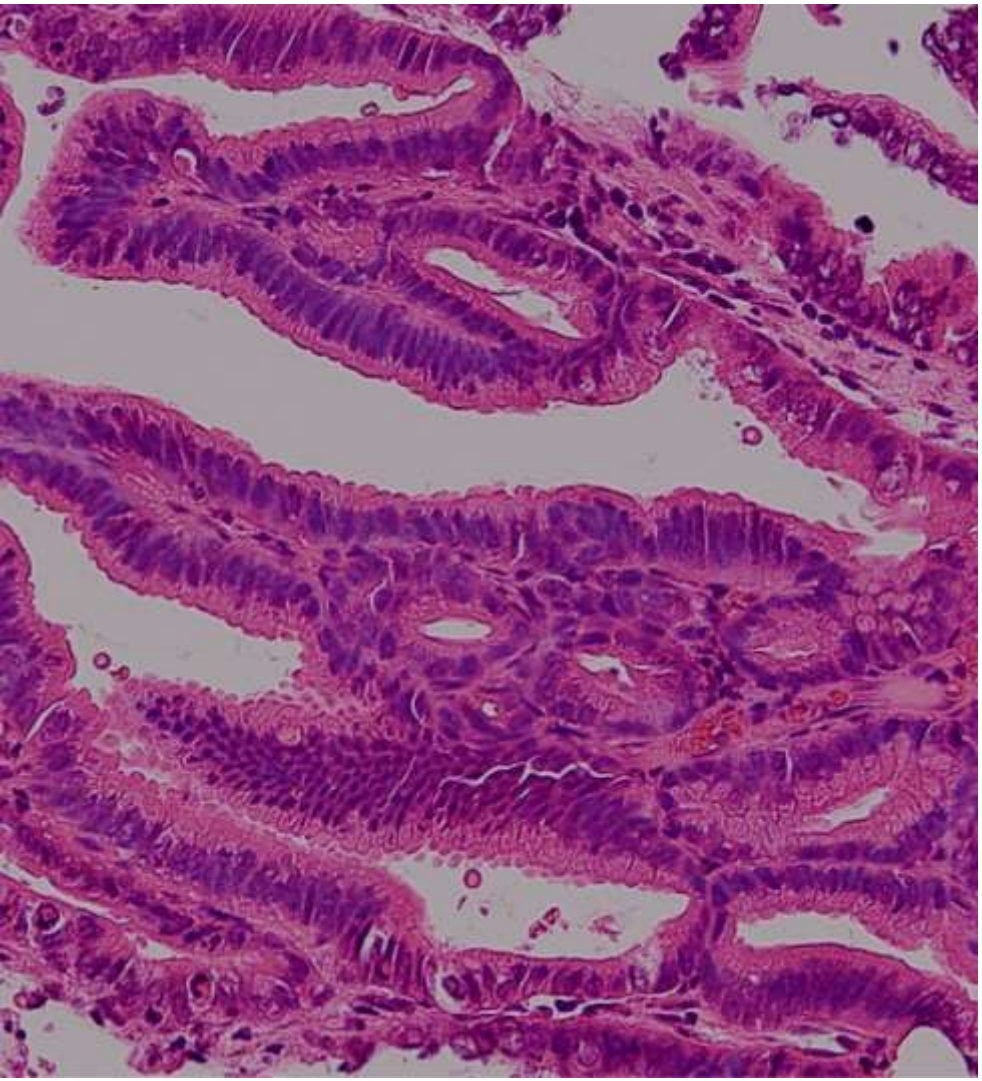


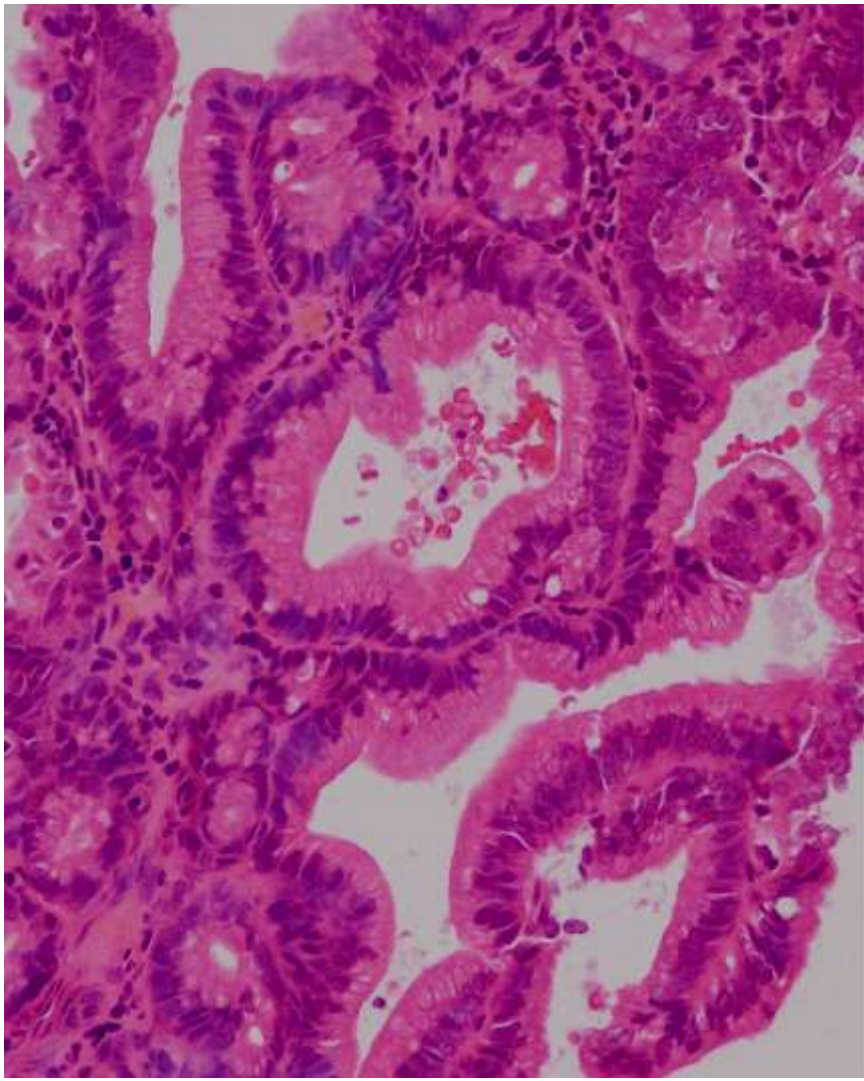


EUS-FNA 細胞像（LBC）（Pap.染色×40）



EUS-FNA 組織像

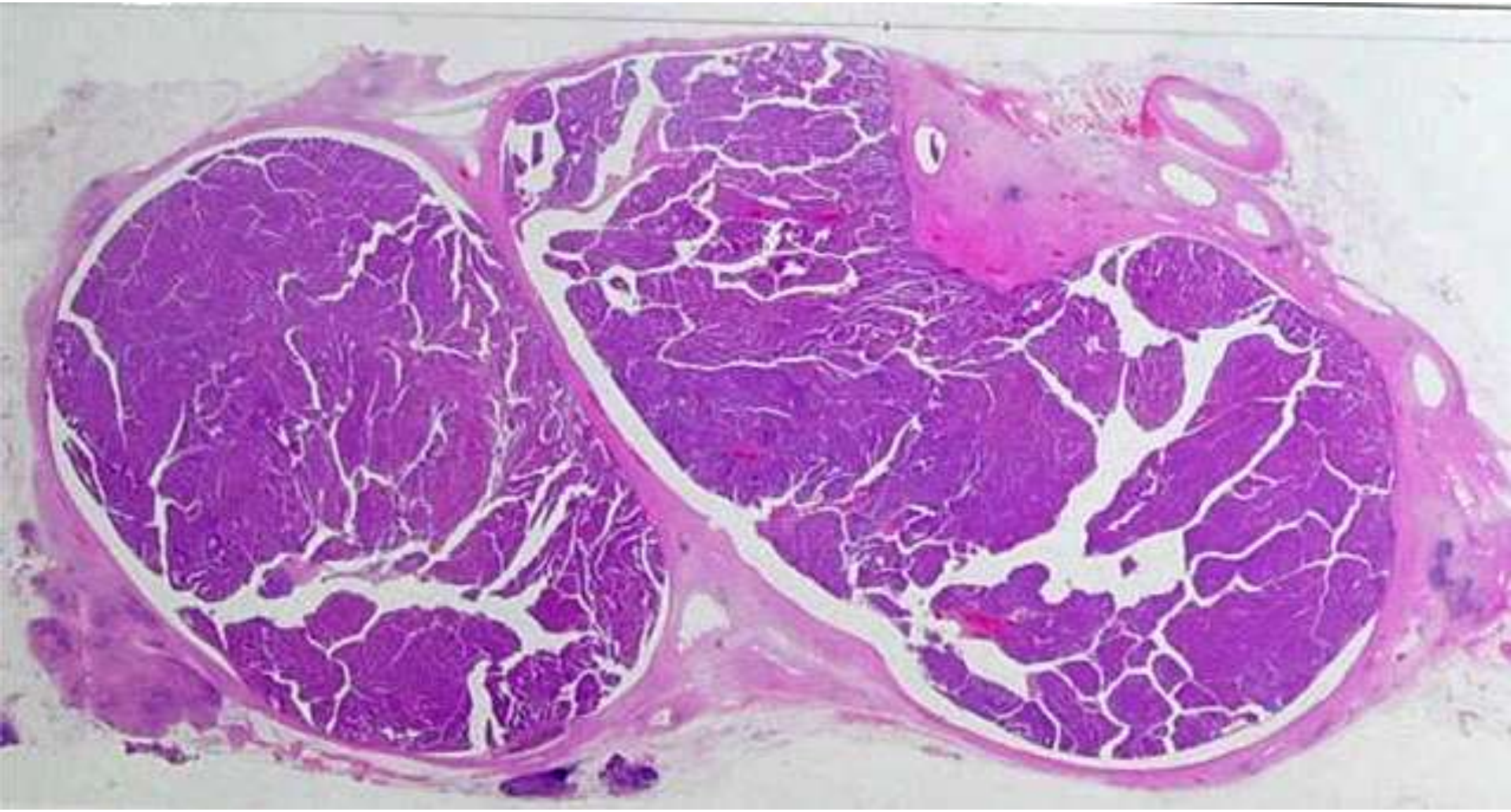




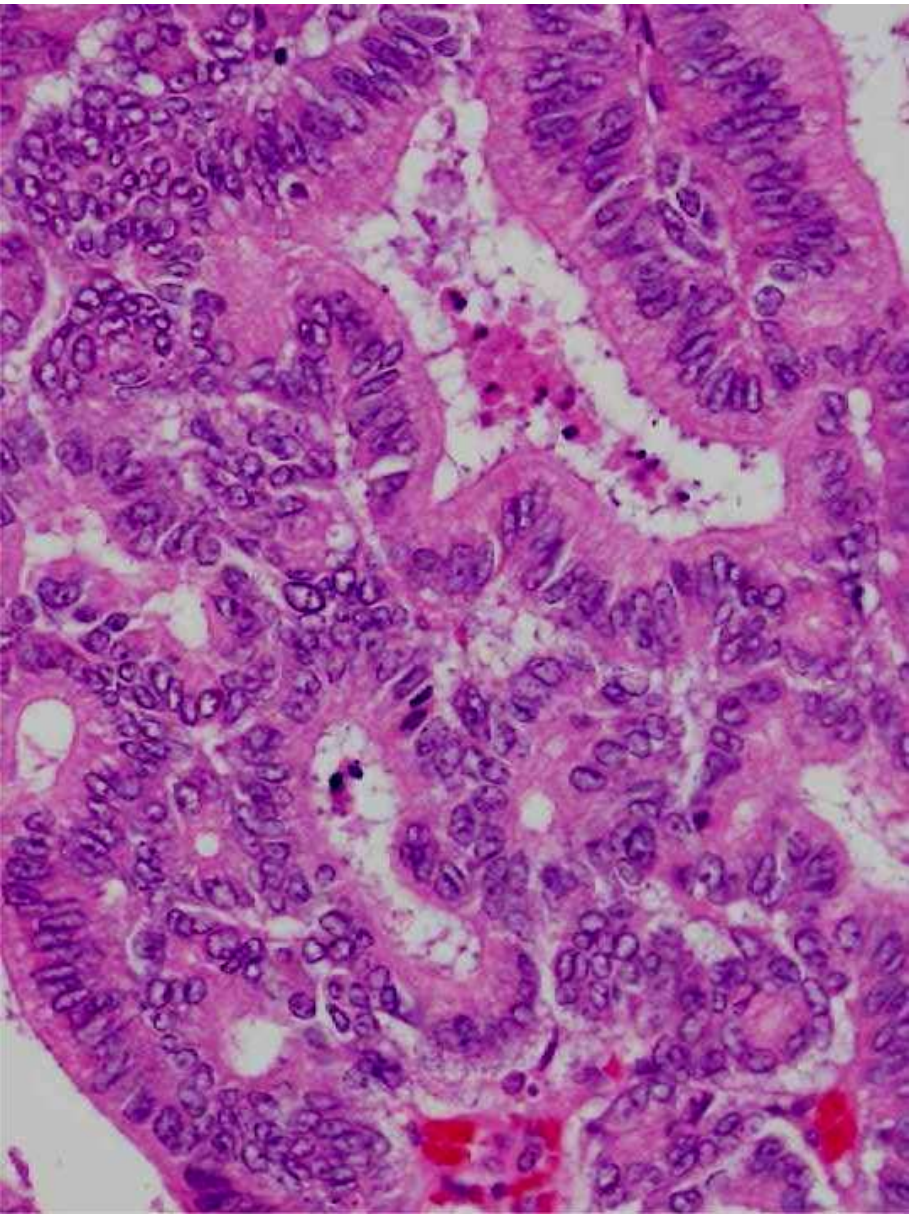
ホルマリン固定後割面像

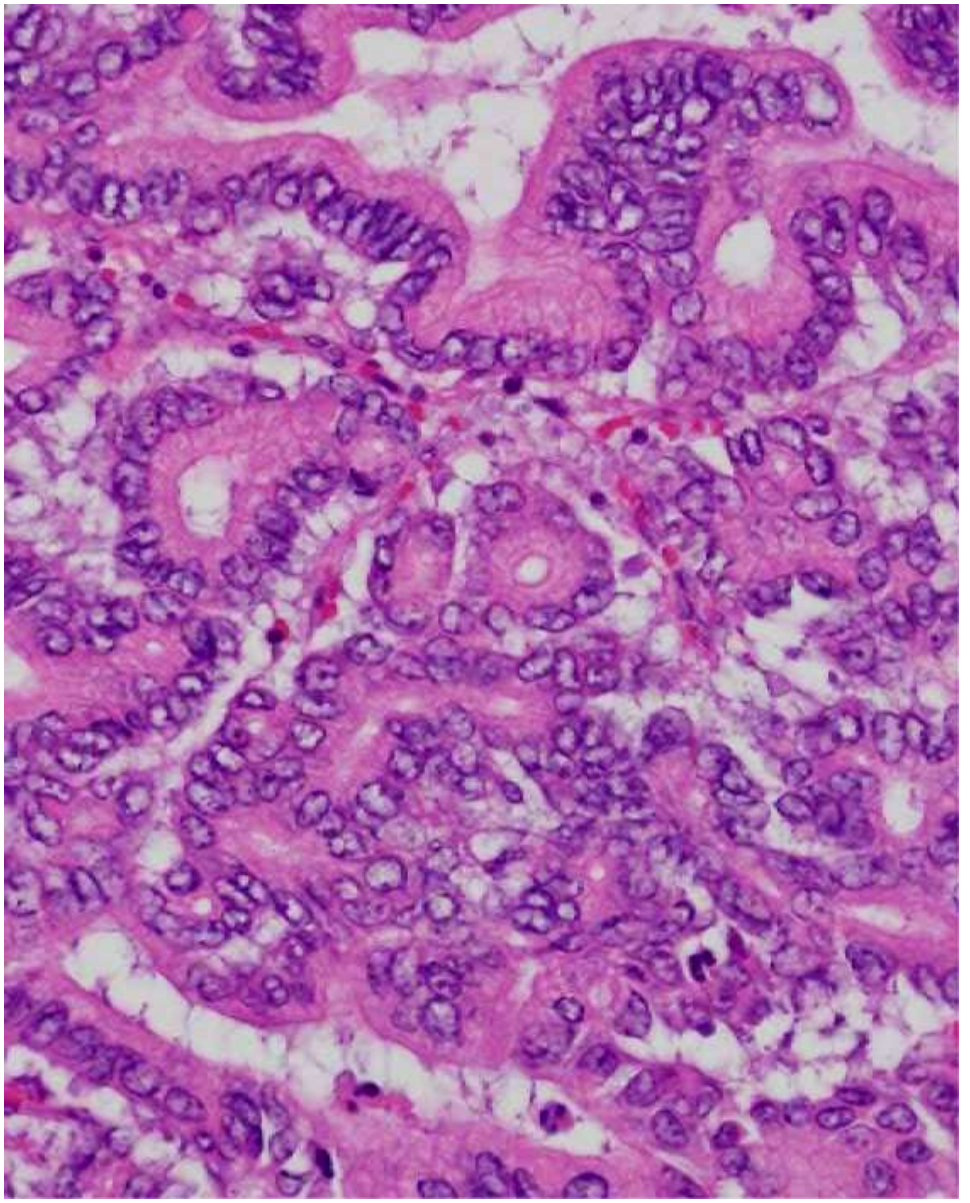


ルーペ像



組織像





免疫染色のまとめ

抗体名	結果
MUC1	－
MUC2	－
MUC5AC	－
MUC6	－
CK7	＋
CK19	＋
CK20	－
CDX2	－
α1-AT	＋
β-catenin	核内発現 －
AFP	－
CGA	－
p53	－
MIB-1 Index	約30%

病理診断

膵管内管状乳頭腺癌,非浸潤性

Intraductal tubulopapillary carcinoma, non-invasive

PhAc, TS4(90×50mm), nodular type, int,
INFa, ly0, v0, ne0, mpd(-),
pT2, pCH0, pDU0, pS0, pRP0, pPV0, pA0,
pPL0, pOO0,
pPCM0, pBCM0, pDPM0, R0

膵管内管状乳頭腫瘍(ITPN)

1. 肉眼的に拡張膵管内に充満する充実性腫瘍である.
2. 粘液の産生を認めず、管状乳頭状に増殖する.
3. 一様に異型が強く、頻繁に壊死を伴う.
4. 導管上皮細胞への分化を認め CK7 、CK19 陽性.
5. 腺房細胞への分化を認めず、トリプシン陰性.
6. MUC2 や MUC5AC 、 fascin の発現がない.
7. KRAS 、BRAF 遺伝子変異を認めない.

IPMN と ITPN の相違点

	IPMN	ITPN
肉眼的粘液	＋	－
肉眼型形態	嚢胞状・乳頭状 膵管内粘液貯留	充実結節状 膵管内を充満
細胞形態	主として円柱状 （粘液性）	主として立方状 （非粘液性）
組織学的異型度	軽度～中等度～高度	一様に高度
MUC2	＋(一部亜型)	－
MUC5AC	＋(全亜型)	－
遺伝子変異	KRAS , GNAS	PIK3CA

まとめ

- 膵外分泌腫瘍、膵管内腫瘍の中で発生頻度が稀な腫瘍である ITPN の一例を経験した。
- ITPN は比較的新しい疾患であり、症例を積み重ねて臨床的・病理学的な特徴をさらに明らかにしていく必要があるが、細胞診による判断の際にはやはり画像、臨床経過をあわせた判断が必要であると思われた。